

平成 2 9 年度総合事業の評価結果の概要

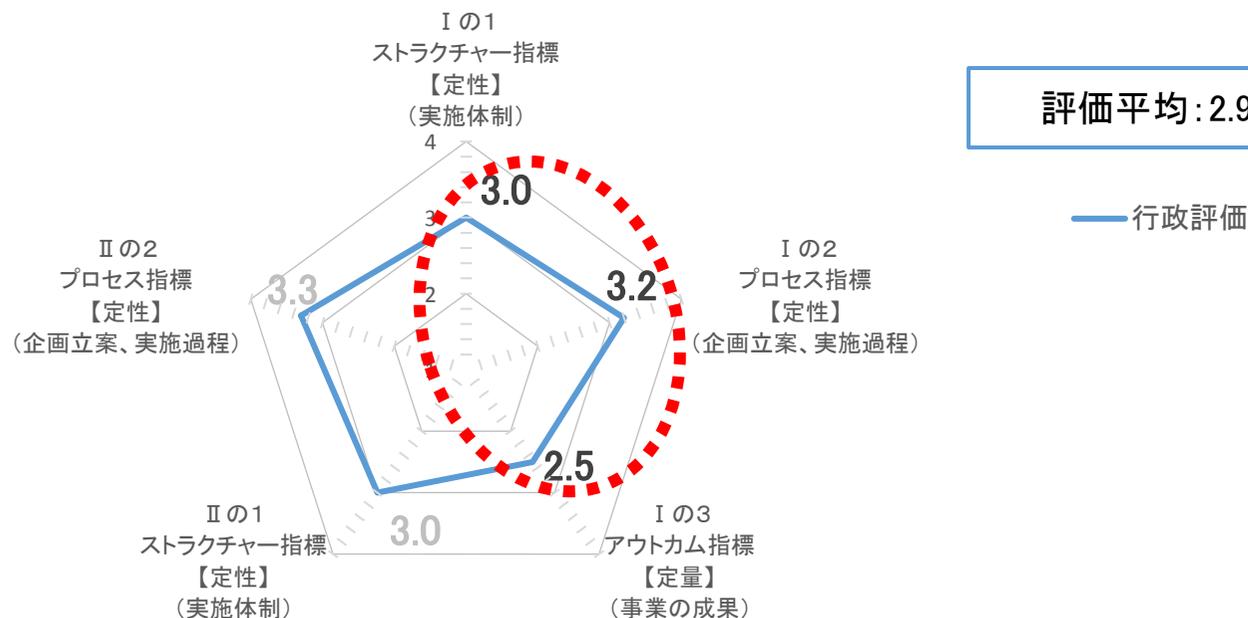
【カテゴリーと評価項目の対応関係】

◆総合事業（地域づくりを含む全体評価）

- ・ I の 1 ストラクチャー指標【定性】（実施体制） : 1（1）～（2）
- ・ I の 2 プロセス指標【定性】（企画立案、実施過程） : 2（1）～（6）
- ・ I の 2 プロセス指標【定量】（企画立案、実施過程） : 2（7）～（9）※
- ・ I の 3 アウトカム指標【定量】（事業の成果） : 3（1）～（5）

※平成29年度から事業を開始しており、前年度との比較ができないため、今回の行政評価の点数は「なし」としている

平成29年度総合事業〔地域づくりを含む全体評価〕結果の概要



【講評】

(1) 総評

○ Iの1 ストラクチャー指標【定性】(実施体制)

・介護予防と生活支援が図られる地域づくりを進めるための、市と地域の各種団体との連携体制の構築が進んでいる。

○ Iの2 プロセス指標【定性】(企画立案、実施過程) ※前年度との比較ができないため、【定量】は「なし」

・地域支え合い活動の中心的役割を担う地区社会福祉協議会、民生委員が集まる会合での意見交換
・地域の情報を集めた地区カルテの作成
・地域支え合い推進員による地域訪問
により、地域における現状・課題などの情報共有が図られている。

○ Iの3 アウトカム指標【定量】(事業の成果)

・65歳以上の新規認定者数(293人増加)及び割合(0.3ポイント増加)の増加により、今後のさらなる介護予防の取組が望まれる。

(2) 重点的に取り組むべき事項

- ・介護予防や生活支援を進める上で重要な、市、地域包括支援センター、市社会福祉協議会との3者間の連携体制強化
- ・地域課題の解決のための、各地区での地域関係者と各種団体との連携体制構築に向けた具体的な働きかけ

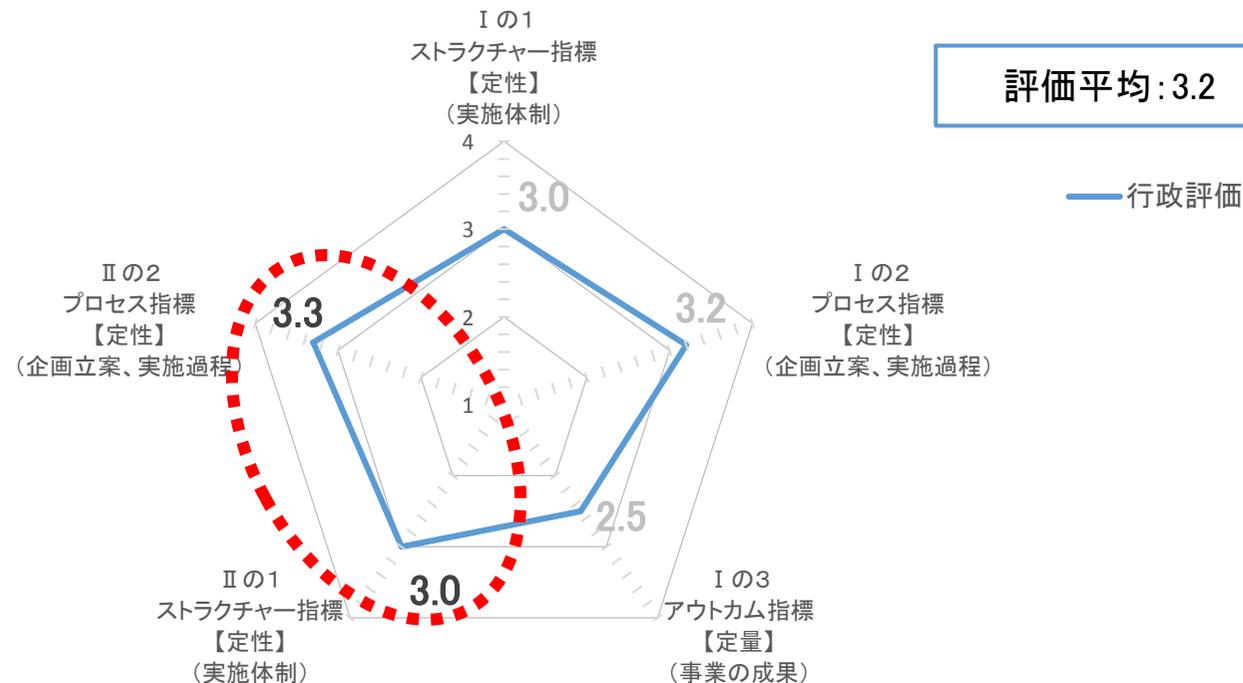
【カテゴリーと評価項目の対応関係】

◆総合事業（介護予防・生活支援サービス事業評価）

- ・Ⅱの1 ストラクチャー指標【定性】（実施体制） : 1（1）
- ・Ⅱの2 プロセス指標【定性】（企画立案、実施過程） : 2（1）～（6）
- ・Ⅱの2 プロセス指標【定量】（企画立案、実施過程） : 2（7）※
- ・Ⅱの3 アウトカム指標【定量】（事業の成果） : 3（1）※

※平成29年度から事業を開始しており、前年度との比較ができないため、今回の行政評価の点数は「なし」としている

平成29年度総合事業〔介護予防・生活支援サービス事業評価〕結果の概要



【講評】

(1) 総評

○ IIの1 ストラクチャー指標【定性】(実施体制)

- ・ 総合事業の趣旨や自立支援の重要性を共有し、効果的な介護予防ケアマネジメントを行うための、市、地域包括支援センター及び各事業所との連携体制の構築が進んでいる。

○ IIの2 プロセス指標【定性】(企画立案、実施過程) ※前年度との比較ができないため、【定量】は「なし」

- ・ 地域包括支援センター及び各事業所との共通した利用者への窓口説明、手続方法による運用
- ・ 各事業所における実施状況の把握や大学等の関係者との意見交換により、介護予防・生活支援サービス事業を効果的かつ効率的に実施している。

○ IIの3 アウトカム指標【定量】(事業の成果) ※前年度との比較ができないため、「なし」

(2) 重点的に取り組むべき事項

- ・ 総合事業の幅広い周知